

ニュース：アフリカ豚コレラが香港へ侵入、6000頭の豚が処分予定



出典（看中國 VISION TIMES）

<https://www.secretchina.com/news/gb/2019/05/10/893313.html>

（仮訳）

【2019年5月10日、看中國報道】

中国本土のすべての省、市、自治区に広がったアフリカの豚コレラは、今日香港へ侵入した。香港当局は、広東省湛江市から輸入された生きた豚の検査の結果アフリカ豚コレラウイルスが検出され、6,000頭の豚が殺処分され、香港の豚肉市場は供給不足となると発表。

5月10日の台湾のFree Timesの報道によると、今日、上水と殺場において、広東省湛江市から輸入された生きた豚から、アフリカ豚コレラウイルスが検出された。と殺場は数日間閉鎖され消毒されるだけでなく、約6,000頭の豚が処分される予定。該当のと殺場は香港市場で豚肉の約80%を供給していると報告されており、香港産の豚は、荃湾（チュワン）等のと殺場では、一日約400頭しか市場に供給できない。

香港の“East Network”は5月10日、香港食品医薬品局局長のChen Yushiがアフリカ豚コレラに関する記者会見を行ったと報じた。Chan氏は、香港の上水と殺場は消毒作業が完了するまで操業を停止すると述べたが、香港での生鮮豚肉の供給量は減少すると予想されている。Chen氏はまた、アフリカの豚コレラが人間に感染しないこと、そして豚肉が調理されている限り豚肉は食品安全のリスクをもたらさないと主張した。

主席獣医官兼水産保護局次長のHe Zhanhao氏は以下の通り述べた。5月2日、アフリカ豚コレラ陽性サンプルを確認し、国際認証を受けた後にウイルス分離が行われ、本日、アフリカ豚コレラが検出された。